

## 船舶事故調査報告書

平成28年12月15日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成27年3月27日 14時50分ごろ
発生場所	和歌山県田辺市田辺港第1区 <small>かぐら</small> 神楽島南方灯標から真方位116°400m付近 （概位 北緯33°42.4′ 東経135°22.4′）
事故の概要	ヨットバーニーズ・マウンテンは、東進中、暗岩に乗り揚げた。 バーニーズ・マウンテンは、センターキール下部に擦過傷を生じた。
事故調査の経過	平成27年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 なお、後日、1人の地方事故調査官を新たに指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	ヨット バーニーズ・マウンテン、8.5トン 235-44718東京、個人所有 11.57m (Lr) × 3.88m × 1.77m、FRP ディーゼル機関、36.8kW、平成15年12月
乗組員等に関する情報	船長 男性 50歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 平成22年5月14日 免許証交付日 平成26年5月26日 （平成32年5月13日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	センターキール下部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、親族1人を乗せ、平成27年3月27日10時00分ごろ田辺港周辺を遊走する目的で田辺市所在のボートステーションを出航した。 本船は、田辺港を機走により約5.0ノットの対地速力で航行中、船長が、GPSプロッターに表示された田辺市ソコ島の北方沖を通過するつもりで、目視でソコ島を探しながら東進した。

	<p>船長は、右舷船首方に島を視認し、目標のソコ島と思い、同島北方沖を東進中、14時50分ごろ暗岩に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船長が、海上保安庁に本事故の発生を通報したのち、満潮を待って自力で離礁した。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
その他の事項	<p>本船の喫水(海面からセンターキール下端まで)は、約2.1mであった。</p> <p>海図W74(田辺港)によれば、ソコ島は、暗岩であり、+の記号で示されていた。</p> <p>船長は、海図図式の+の記号が暗岩を示すことやソコ島が暗岩であることを知らず、ソコ島が海岸線を有する島であると思い込んでいた。</p> <p>船長は、本事故後、右舷船首方に視認した島が神島であることを知った。</p> <p>GPSプロッターは、本事故当時、縦約1,000m横約500mで表示しており、+の記号(暗岩)が示されていた。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	あり なし なし <p>本船は、田辺港第1区を東進中、船長が、視認した神島をGPSプロッターに表示されたソコ島と思い込み、海図図式の+の記号が暗岩を示すことを知らなかったことから、ソコ島と称する暗岩に向かっていくことに気付かず、同暗岩に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、GPSプロッターで表示されたソコ島と称する暗岩を海岸線を有する島と思い込んだものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、田辺港第1区を東進中、船長が、視認した神島をGPSプロッターに表示されたソコ島と思い込み、海図図式の+の記号が暗岩を示すことを知らなかったため、ソコ島と称する暗岩に向かっていくことに気付かず、同暗岩に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海図図式を再確認すること。</li> </ul>

付図1 事故発生経過概略図

